

1 学年通信

Practice Makes Perfect

担当：大久保成

☆高校生としての自覚を持ち、様々な『初めて』を乗り越えよう。

4月に入学し、約1ヶ月が経過しました。中学時代とは異なり、電車やバスなどの公共の交通機関、自転車を利用するなど通学時間が長くなった者、学習内容が難しくなり授業に不安を抱えている者、部活動の厳しい練習に着いていくのが精一杯である者など、新しい環境に戸惑っている者も多いと思います。しかし、社会の第一線で活躍しているその道のプロと言われる人達でも、「初めて」を経験し、その後の努力の積み重ねで、現在の成功を勝ち取ることができているのだと思います。今後の高校生活の中で、高校生としての自覚を持ち、様々な『初めて』を乗り越え、それぞれが経験値を上げ、卒業後の将来に備えていくことが大切です。

☆周到な準備が勝利を招く。それぞれの目的を達成しよう。

皆さんは、本校に入学して、志望校の大学、専門学校への進学、部活動での活躍、多くの国家資格の取得、検定試験での合格、理想とする企業への就職など、それぞれが理想とする成果を思い描いているのではないのでしょうか。『絵に描いた餅』にならないようにしたいものです。

私が以前に見たあるアクション映画の中にとっても印象に残っている言葉があるので紹介します。その映画の主人公にその師匠が残した言葉であり、「Victory loves preparation.」です。直訳すれば、「勝利は準備が好き」となりますが、「周到な準備が勝利を招く」と訳すことができます。主人公は、常にあらゆる状況を予測し、文字通りの周到な準備で、次々と迫り来る危機を回避し、自身の掲げる目的を確実に成し遂げていきます。誰もが、その目的を達成させるためには、その目的を達成するための努力、周到な準備が必要であることをこの言葉から学び取ることができます。

進学を希望する者は、3年生になってから受験勉強をスタートさせても間に合いません。1年生である今のうちから地道に基礎学力を身につけていくことが大切です。スタートが早ければ早いほど勝利のチャンスも広がります。就職を希望する者は、社会人として必要なマナーや一般常識、積極的で前向きな行動力やコミュニケーション能力を身につけておく必要があります。入社試験直前の対策で直ぐに身につけられるものではありません。部活動においても、日々の練習の積み重ねが本番の良し悪しを左右することになります。資格検定試験では、どれだけの問題を解き、理解するためにどれだけ時間を費やしたかが結果に表れるものです。試験会場に向かう前の段階で結果は既に決まっているといっても過言ではありません。

電気科の生徒諸君は、5月29日に第二種電気工事士筆記試験を控えています。試験の直前ギリギリまでの周到な準備、試験対策が十分にできていれば、必ず合格を勝ち取ることができます。努力もせずに自分にとって有利な問題が出題されることを祈るだけであったり、何とかなるだろうという根拠のない自信で乗り切ろうと考える者、途中で諦めてしまい自ら合格のチャンスを捨ててしまう者は、勝利を勝ち取ることにはできません。最後まで、粘り強く頑張って対策し、全員で合格し、初めての国家資格を手に入れて欲しいものと思います。情報処理科の生徒諸君もビジネス計算実務検定、ビジネス文書検定、簿記検定、情報処理検定などの試験にしっかりと取り組んでください。普通科の生徒諸君は、実力診断テストがスタートします。しっかりと事前学習に取り組み、それぞれが納得のいく成果を勝ち取ってください。

☆5月（皐月）の行事予定・月訓『遵法』

1	日		16	月	QUアンケート（1時限L T時）
2	月	防災訓練（1時限）	17	火	中間試験1日目
3	火	憲法記念の日	18	水	中間試験2日目
4	水	みどりの日	19	木	中間試験3日目
5	木	子供の日	20	金	中間試験4日目・進路説明会準備
6	金	スタディーサポート（1～3時限：I・II類）	21	土	3学年対象進路説明会（保護者総会中止）
7	土	第1回保護者会役員会（9:30）・委員会（10:00）	22	日	
8	日		23	月	1学年朝礼・身だしなみ指導
9	月	前期生徒会選挙（1時限） チャレンジ0週	24	火	体力テスト①
			25	水	体力テスト②
10	火	執行部合同会	26	木	体力テスト予備日・緊急情報ネットワーク訓練
11	水	尿検査・内科検診（5・6時限）	27	金	執行日合同会・尿検査予備日・身だしなみ指導再検査
12	木	尿検査・内科検診（5・6時限）	28	土	
13	金	尿検査予備日・内科検診予備日（5・6時限）	29	日	第二種電気工事士上期筆記試験（電気科）
14	土		30	月	全校朝礼
15	日		31	火	実力診断テスト（1～3時限：普通科）・常任委員会

☆コラム『大きな岩を最初に入れなさい』

「クイズの時間だ」教授はそう言って、大きな鐵壺を教壇の上に置いた。

その壺に彼は一つ一つ岩を詰めた。壺がいっぱいになるまで岩を詰めて、彼は学生に聞いた。

「この壺は満杯か？」教室中の学生が「はい」と答えた。

「本当に？」そう言いながら教授は教卓の下からバケツいっぱい砂利を取り出した。彼はその砂利を壺の中に流し込み、壺を振りながら、岩と岩の間を砂利で埋めていく。

そしてもう一度学生たちに聞いた。「この壺は満杯か？」学生らは答えられない。一人が「多分違うだろう」と答えた。

教授は「そうだ」と言って笑い、今度は教卓の陰から砂の入ったバケツを取り出した。それを岩と砂利の隙間に流し込んだ後、三度目の質問をした。「この壺はこれでいっぱいになったか？」学生らは声を揃えて、「いや」と答えた。教授は水差しを取り出し、壺の縁まで水をみなみと注いだ。彼は学生に最後の質問をした。

「僕が何を言いたいかわかるだろうか？」

一人が手を挙げた。「どんなにスケジュールが厳しいときでも、最大限の努力をすればいつでも予定を詰め込むことは可能だと言うことです」

「それは違う」と教授は答えた。「**重要なポイントはそこではない。この例が私たちに示してくれる真実は、大きな岩を先に入れない限り、それが入る余地はその後二度とないということなのだ**」

「君たちにとって『大きな岩』とは何だろうか？」と教授は話を続けた…。

「それは、仕事であったり、志であったり、愛する人であったり、家庭であったり、自分の夢であったり…。

ここで言う『大きな岩』とは君たちにとって一番大事なものだ。それを**最初に壺に入れなさい**。さもないと、君たちはそれを永遠に失うことになる。もし君たちが小さな砂利や砂、つまり自分にとって重要性の低いものから自分の壺を満たしていけば、君たちの人生は重要でない『何か』に満たされたものになり、大きな岩、つまり自分にとって一番大事なものに割く時間を失い、その結果それ自体を永遠に失うことになるだろう。」

～～～ Team Blue-1 Manager ～～～